

母体仕様書

各モジュールは、6つのシンボルマークで構成される。
実装には、シンボルマーク以外を記載してはならない。

- モジュール A は、「○×」を 3 回繰り返して構成される。
- モジュール B は、「○△□」と、その逆順で構成される。
- モジュール C は、「■♥★」を 2 回繰り返して構成される。
- モジュール D は、モジュール A の 4 番目、モジュール B の 5 番目、モジュール C の 6 番目のシンボルマークのセットを 2 回繰り返して構成される。
- モジュール E は、モジュール B のシンボルマークを黒塗りにしたシンボルマークで構成される。
- モジュール F は、モジュール D の 1～3 番目と、モジュール E の 1～3 番目のシンボルマークで構成される。
- モジュール G は、モジュール A の 1, 2 番目と、モジュール B の 1, 2 番目と、モジュール C の 1, 2 番目のシンボルマークで構成される。
- モジュール H は、モジュール G のシンボルマークの逆順で構成される。

変更要求仕様書①

★要求元は変更途中を知らないため、変更は、必ず母体仕様書の実装に対してのみ行う。
実装には、シンボルマーク以外を記載してはならない。

1. モジュール A の○を□に変更する。
2. モジュール F の 2 番目のシンボルマークを○に変更する。
3. モジュール H の○を黒塗りに変更する。
4. モジュール B の△をモジュール A の 3 番目のシンボルマークに変更する。
5. モジュール C の 1 番目と 4 番目をモジュール H の 4 番目のシンボルマークに変更する。
6. モジュールに関わらず、全ての「×○」の組合せを「○×」に変更する。なお、この変更要求は上記の変更要求 1.～5.よりも優先される。まず「×○」を「○×」に変更してから、上記の変更要求 1.～5.の変更を適用する。
7. モジュールに関わらず、全ての△を▲とする。なお、この変更要求は上記の変更要求 1.～6.よりも優先される。コンフリクトした場合は、この変更要求を適用する。
8. 母体仕様書のモジュール D の仕様にて、「モジュール A の 4 番目、モジュール B の 5 番目、モジュール C の 6 番目」を「モジュール C の 4 番目、モジュール A の 5 番目、モジュール B の 6 番目」に変更し、新しいモジュール D とする。なお、この変更要求は、上記の変更要求 1.～7.よりも優先される。

変更要求仕様書②

★要求元は変更途中を知らないため、変更は、必ず母体仕様書の実装に対してのみ行う。
実装には、シンボルマーク以外を記載してはならない。

1. モジュール C の♥を△に変更する。
2. モジュール E の 2 番目と 5 番目のシンボルマークを×に変更する。
3. モジュール B の○を★に変更する。
4. モジュール F の★をモジュール C の 5 番目のシンボルマークに変更する。
5. モジュール A の 1 番目と 3 番目と 5 番目をモジュール B の 3 番目のシンボルマークに変更する。
6. モジュールに関わらず、全ての「△★」の組合せを「★△」に変更する。なお、この変更要求は上記の変更要求 1.～5.よりも優先される。まず「△★」を「★△」に変更してから、上記の変更要求 1.～5.を適用する。
7. モジュールに関わらず、全ての○を●とする。なお、この変更要求は、上記の変更要求 1.～6.よりも優先される。コンフリクトした場合は、この変更要求を適用する。
8. 母体仕様書のモジュール G の仕様にて、「モジュール A の 1, 2 番目と、モジュール B の 1, 2 番目と、モジュール C の 1, 2 番目」を「モジュール A の 5, 6 番目と、モジュール B の 5, 6 番目と、モジュール C の 5, 6 番目」に変更し、新しいモジュール G とする。なお、この変更要求は、上記の変更要求 1.～7.よりも優先される。